

令和2年度概算要求の宇宙関係予算について

令和元年10月9日
国土交通省

静止気象衛星業務等

(ひまわり8号：平成27年7月7日運用開始、ひまわり9号：平成29年3月10日待機運用開始)
令和2年度概算要求額3,041百万円（令和元年度予算額3,087百万円）

国土交通省気象庁観測部
気象衛星課
03-3212-8341

事業概要・目的

○国民の安心・安全に寄与する防災情報の作成及び地球環境の監視に欠かせない静止気象衛星ひまわり8号及び9号の運用を継続します。

○ひまわり8号は平成27年7月7日に運用開始。ひまわり9号は平成29年3月10日に待機運用開始。2機あわせて令和11年度まで運用します。

(年度)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
ひまわり8号	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測	観測
ひまわり9号	待機	待機	待機	待機	待機	待機	待機	待機	待機	待機	待機	待機	待機	待機	待機

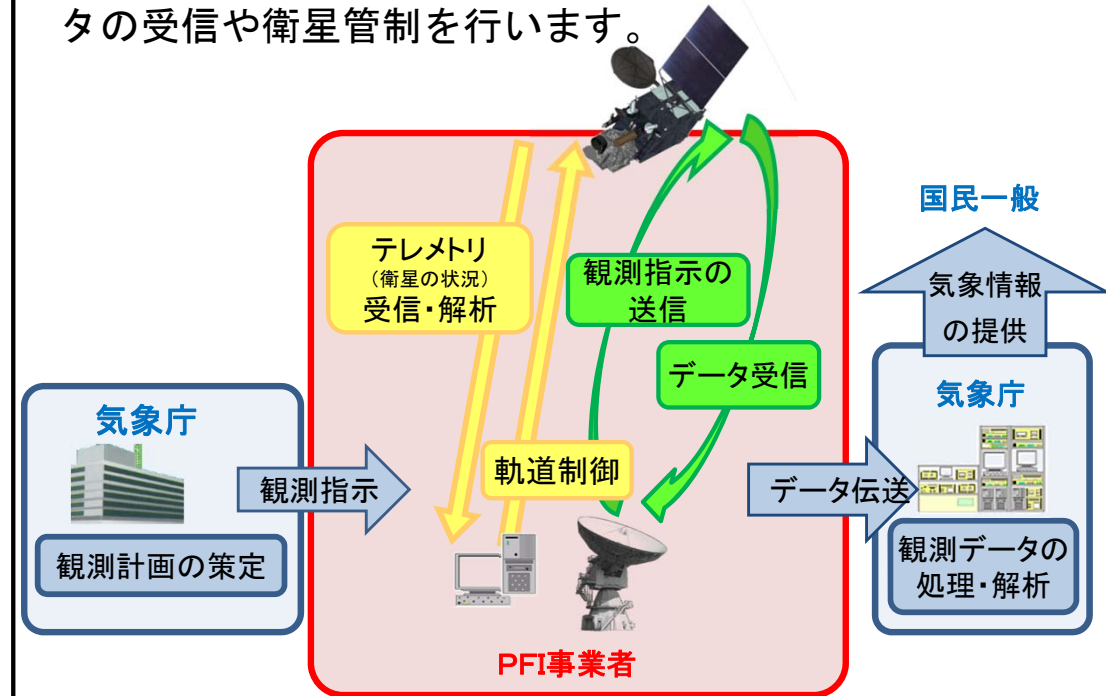
ひまわり8号 観測
ひまわり9号 待機

○今後も、将来にわたって切れ目のない観測体制を維持するため、宇宙基本計画に基づき、**令和5年度をめぐりに後継機の製造に着手する計画**です。

○令和5年度の後継機の整備に向けて、令和元年度の衛星本体に関する技術調査に続き、**令和2年度は運用体制・調達方法に関する調査を実施する計画**です。

事業イメージ・具体例

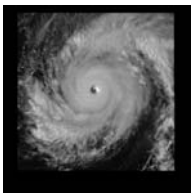
○ひまわり8号・9号の運用はPFI事業者が担い、観測データの受信や衛星管制を行います。



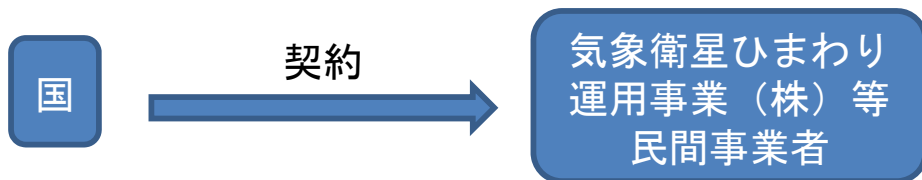
期待される効果

○台風の進路予測や注意報・警報の発表などを通じて、自然災害の防止・軽減に寄与するとともに、日々の天気予報など気象庁が広く国民に提供する各種情報の基礎データとして利用されます。

○海面の温度、海氷の分布、黄砂などの大気中の微粒子等を観測し、地球環境の監視や必要な対策に貢献します。



資金の流れ



海洋監視体制の構築

令和2年度概算要求額788百万円（令和元年度予算額538百万円）

国土交通省海上保安庁
警備救難部警備情報課
03-3591-6361（代表）

事業概要・目的

- ・「海上保安体制強化に関する方針」
（平成28年12月21日、海上保安体制強化に関する関係閣僚会議決定）
- ・「第3期海洋基本計画」
（平成30年5月15日、閣議決定）
- ・「経済財政運営と改革の基本方針2019（骨太方針）」（令和元年6月21日、閣議決定）

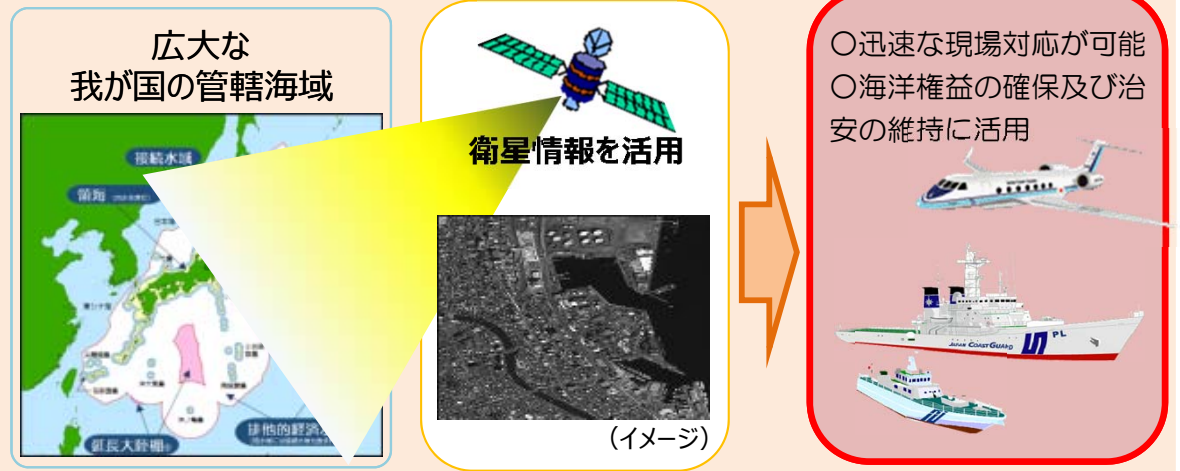
これらに基づき海上保安庁は、「海洋監視体制の強化」を図ることとされており、衛星情報の取得・活用等により、海洋監視能力を強化し、巡視船艇・航空機の迅速な現場対応や海洋権益の確保及び治安の維持に活用します。

事業イメージ・具体例

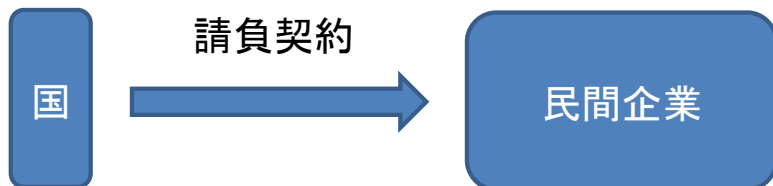
我が国周辺の広大な海域における様々な脅威に対する監視体制を強化するため、衛星情報の取得・活用等により、海上保安庁における監視能力の強化を図ります。

主な取組み

- 海洋監視体制の構築



資金の流れ



期待される効果

衛星情報を取得・活用することにより、広大な海域における船舶や発生事象の状況把握等を行うことが可能となり、巡視船艇・航空機がより迅速・適切に対処できる体制となります。

海洋状況表示システムの機能強化

令和2年度予算案103百万円（平成31年度予算額 110百万円）

国土交通省海上保安庁
海洋情報部海洋情報課
03-3595-3611

事業概要・目的

・「第3期海洋基本計画」（平成30年5月15日、閣議決定）、「我が国の海洋状況把握の能力強化に向けた取組」（平成28年7月26日、総合海洋政策本部決定）及び「我が国における海洋状況把握（MDA）の能力強化に向けた今後の取組方針」（平成30年5月15日、総合海洋政策本部決定）に基づき、海上保安庁は、我が国の海洋状況把握の重要なシステム基盤であり、多様な海洋情報をその機密性に応じて集約・共有する「海洋状況表示システム」を運用し、必要な機能強化を行います。

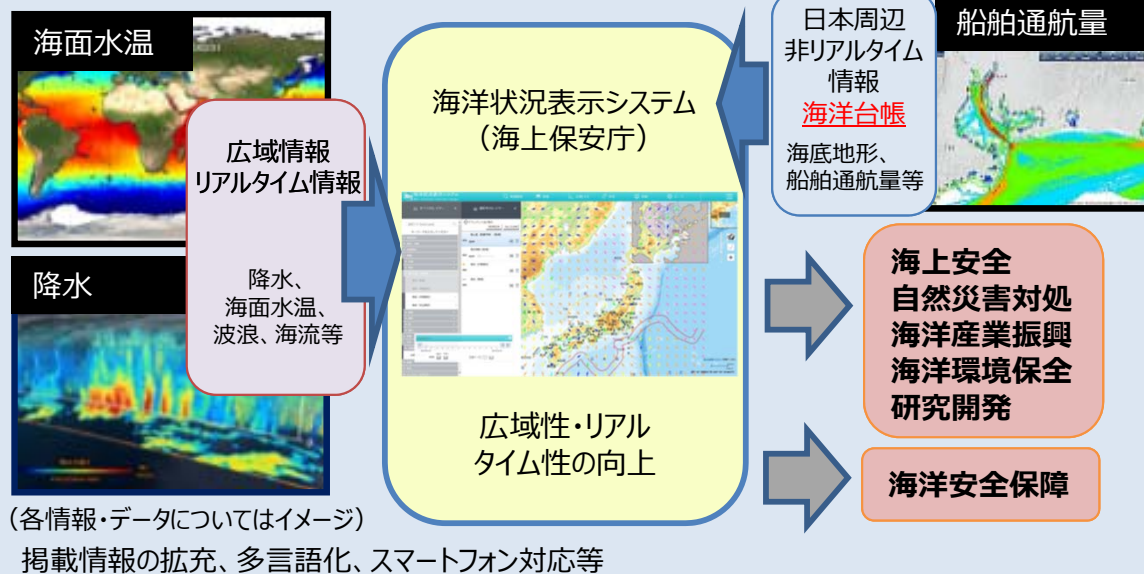
・また「海洋状況表示システム」による海洋情報の集約・共有・提供は、海洋情報の提供等に協力する府省並びに海洋情報の収集・加工・管理を行う政府関係機関が連携・協力して行うこととされています。

事業イメージ・具体例

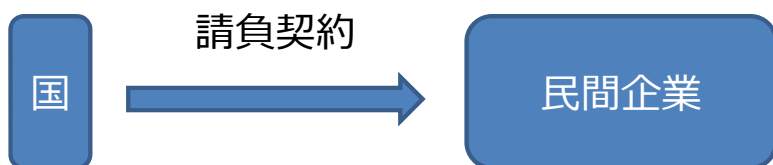
広範・広域性、リアルタイム性、利便性・一覧性に優れた「海洋状況表示システム」を運用し、機能強化を行います。

主な取組

○ 海洋状況表示システムの機能強化



資金の流れ



期待される効果

○広範・広域性、リアルタイム性、利便性・一覧性に優れた海洋状況表示システムにより、「海洋情報の質・量の高度化」、「海洋の安全保障、海上安全、自然災害対処、環境保全、産業振興等に広く貢献」等の実現が期待されます。